



新北九州空港連絡橋に昇る旭

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO 法人 北九州テクノサポート

〒800-0003 北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org

URL: http://www.npo-kts.org/

Vol. 12

平成21年 冬号

新年のご挨拶

会長 小川 勝



新年おめでとうございます。今年は丑年です。牛で思い出すのは、太宰府天満宮の牛の臥した像です。天満宮と牛との関係は、菅原道真は丑年の生まれだから、命日が丑年の丑の日であったから、太宰府に赴任するときに牛車だった、牛が刺客から道真を守った、などの謂れがあるそうです。燃料の高騰が一段落と思った矢先に、金融不安に端を発した大不況風、お先真っ暗とも言われています。第2次補正予算に期待がかかりますがタイミングが問題です。この困難な今年をどう乗り切るか知恵を絞らねばなりません。知恵の神様、菅原道真にあやかった縁起の良い丑年です。臥した牛の像をなぜか悪いところが回復するとも言われています。神頼みを含めてでもあらゆる手を尽くし知恵を出してこの難局を乗り切らねばなりません。

NPO 法人北九州テクノサポートは、70 名からなる技術屋集団ですのでこの難局に当たって、中小企業の皆様のお手伝いできると確信しています。昨秋に事業企画 Gr を新設しました。皆様のお役にたつ企画を案出していきます。是非、当法人にお手伝いをさせていただきたくお願い申し上げます。当法人は、エコアクション 21 (中小企業向け環境経営システム) の普及、認証・登録のお世話をする地域事務局福岡を運営しています。エコアクション 21 を上手に構築・運用することでコストダウン、経営改善ができます。難局を乗り切るうえでも、必要な経営システムとも言えますので是非取り組まれることをお勧めいたします。また、会員の皆様におかれましては、当法人の活動の第1歩は企業へのアプローチであることを再認識いただき、事業への積極的な参加・取組、ご活躍を期待する次第です。

本年もよろしくお願い申し上げます。

Topics. 新規事業の創出と飛躍を目指して

新規事業の創出目指して

理事 石川 浩

当NPO・KTSは昨年9月の理事会にて従来の各支援部会をグループ(Gr)と名称変更し各Gr間の連携を強化すると共に、より総合力を発揮すべく組織の見直しを行い、新たに事業企画Grを発足しました。

これまで各支援Grの連携を通じた活動を展開してまいりましたが、更なる連携の強化を図り、各支援Grからの積極的な企画・提案を取り上げ事業に結びつけると共に、新たなニーズの調査・発掘による事業企画案の具体化並びに実行体制の早期整備等々、迅速な対応を目的に、事業企画Grを立ち上げ活動を開始したところです。

基本的には従来から実施してきた中小企業のコンサルティング活動の充実・強化がメインですが、これまでどちらかというと受身的な対応が多かったが、これからは積極的に企業訪問頻度を高め、企業ニーズの収集・分析とそれに迅速に対応出来る体制づくりに取り組んでいこうと考えております。中小企業の新技術・新製品開発並びにものづくり技術の高度化への支援はもとより、中小企業の開発した製品の商品化、販売促進、販路の開拓支援等のビジネス支援も含めた幅広い活動を、より積極的に展開していこうと考えております。

また従来からも実施してきました人材育成プロジェクトの様な官民挙げてのプロジェクトへの協力支援について、我々出来る具体的な支援活動を関係先と共に検討していきたいと考えております。今年は「福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)」での中小・ベンチャー企業の発掘、育成への協力支援をテーマに関係先と取り組んでいきたいと思っています。

組織改革と新支援体制

理事 小野晃一

北九州テクノサポートは平成15年4月にNPO 法人化され、経験豊かな知識、技術を備えたシニア世代を社会の貴重な人材・人的資源として捉え、その活力をもって地域住民及び地域の企業、公的機関に対して経営・技術開発、IT 化、環境保全、新規事業の創出等まちづくりの根幹に関する事業を行うことを目的としてスタートいたしました。この間、環境問題の高まりに対応した中小企業の環境経営を支援する「エコアクション21」へも積極的に取組み、平成17年には「エコアクション21地域事務局福岡」を開設致しました。

また鉄鋼、化学などの素材産業から半導体、自動車産業へと躍進する北部九州の将来を視野に入れ、新技術開発、新規事業への対応を強化すべく、従来の技術・経営支援部会及び Eco 支援部会を環境技術支援部会へと再編成するとともに、事業全体を統括する事業企画グループを新設致しました。

☑新体制は下記の支援部会及びグループです。

総会(会員・賛助会員)

会 長—☑事業企画 Gr・石川理事(メンバー各専門部会長)
| プロジェクト・①・②……～

理事会 産学連携支援 Gr・小林理事、吉村理事

☑環境技術支援 Gr・小野理事

ISO/EA21 支援 Gr・小川理事

IT 支援 Gr・安東理事

広報・販売支援 Gr・重藤理事

謹賀新年

平成二十一年 正月 理事一同

会 長 小川 勝

副会長 石川 浩、小野晃一、小林敏郎

理 事 安東 静、重藤将美、後藤禎二、
鳥越年高、尾形昌彦、磯村福義、藤原成雄
石井 剛、吉村英俊、大久保敏明

監 事 増田幸一



新年の挨拶



平成21年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

新年おめでとうございます。

昨年は、2020年度を目標年次とする新しい「基本構想」を策定するなど、将来の飛躍に向けて大きな方向性を示すことができた年でした。また、国の認定を受けた環境モデル都市や、全国初の1都市2地区(小倉・黒崎地区)の認定となった中心市街地活性化基本計画は、本市の発展の推進力になると考えています。

今年は「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を目標とする新しい基本構想がスタートします。子育て支援や教育の充実を図る「人づくり」をはじめ、豊かで安全・安心な市民生活を実現する「暮らしづくり」や、競争力のあ

る産業の振興を図る「産業づくり」、暮らしや産業を支える「都市づくり」を進めます。さらに、市民の自信と誇りを育むため、都市ブランドとして「世界の環境首都」と「アジアの技術首都」を目指すとともに、特産品や観光地に着目したブランドの構築、郷土の偉人・先人の顕彰などにより、地域の新たな魅力づくりを進めます。このようなブランドの確立に向けて、本市ゆかりの方々の協力も得ながら、戦略的かつ効果的なプロモーションを行います。また、道州制の議論の進展や九州新幹線の全線開通などを見据え、産業や観光など幅広い分野において、九州地域をはじめとする各都市間の活発な交流を図りながら広域連携を推進します。

今年は、自治基本条例の策定に向けた議論も大詰めを迎えます。こうした議論も踏まえながら、市民やNPO、企業などとの協働によるまちづくりを進めます。持続可能で安定的な財政の確立を図るため、市税収入等の確保などに取り組み、大幅な収支の改善を目指します。

厳しい財政状況に加え、超高齢・人口減少社会の到来や、昨年発生した世界的な金融不安など、社会経済状況も大きな変化を見せています。このような変化にも柔軟に対応しながら、市民の皆さんと一丸となって、着実に北九州市の明るい未来を築いていきます。

新春放談 北九州の新年を語る

株式会社 安川電機

取締役社長 利島 康司



新年あけましておめでとうございます。

昨年は鋼材や原油の高騰、世界同時不況など、急激な経済変化を経験した年でした。

また、我が北九州市は環境モデル都市に認定され、低炭素社会の実現に向け新たな課題への挑戦をスタートさせた年でもありました。

この1年は時代の変化の兆しを感じる年であ

ったと思います。

かつて北九州は幾度もこのような時代の変化にめぐり合い、そのたびに高くなっていくハードルを乗り越えてきた街でした。私はこのような街で事業を営むことを誇りに感じ、街と一緒にあって我社の事業もこの難局を乗り越えていきたいと思っています。

北九州にはこれまで集積してきた技術力があります。イノベーションを生み出しこの時代のうねりを乗り越えるための財産を有しています。この財産をうまく活用するためには、我々が手を取り合うことが大切で、KTS(北九州テクノサポート)の果たすべき役割は大変重要だと思います。

時代の変化には必ず新しいニーズが生まれ、そのニーズに応えるイノベーションが求められます。こんな時だからこそ北九州の底力で経済の逆風を吹き飛ばさなければなりません。ピンチをチャンスに変えて、さらに元気な北九州市へと飛躍する年になればと願っております。今年も私は元気に頑張っていく所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方のこの一年のご多幸を心より祈念いたします。

TOTO株式会社

代表取締役副社長 西村 韶道



新年あけましておめでとうございます。

「勤勉」は日本人が受け継いできた誇るべき美德であろう。明治維新や戦後の奇跡的な復興もこの「勤勉」を抜きには有り得なかったものと考えられる。

しかるに、最近の世情をみると、本を読まずに

ゲームやメールに時間を浪費する若者の例を挙げるまでもなく「学び嫌い」の風潮が蔓延しているように思えてならない。「ひたすら受身の快楽にふけ、学ぼうとしない」ことが当たり前になってしまっているようだ。学ぶ意欲とは、未来への希望と表裏一体で「生きる力」と言えるものだと思う。

翻って、今の世界は「100年に一度」とも言われる未曾有の経済危機に見舞われていて、企業は生き残りをかけ更に厳しい経営を強いられることになる。

しかし、こういう厳しい状況の時にこそ、モラルの向上と人材育成に力を入れていく必要があるように思う。

「勤勉な日本人」を取り戻すことこそが「明るい未来」への近道であり王道であると信じるが故である。

新春にあたり、「勤勉な日本人」の復活を改めて期待したい。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞
NPO-KTS 四季報 Vol.12 広告 1-2



産業廃棄物処理
プラスチックリサイクル
溶剤リサイクル

高野興産株式会社

本社 北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-2790

北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19

URL: <http://www.takano-k.com/>

株式会社 神垣組



神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残してい

たいと考えます。

代表取締役 神垣 三次

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070

新春随想



平成21年の新春随想

財団法人北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター長 影山 隆雄

新年あけましておめでとうございます。皆様には日頃より「財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」事業にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年半ばまで堅調に推移してきた北九州地域では、9月以降、世界的な金融危機が鉄鋼を中心とする基礎素材、電機、自動車関連などの操業を直撃しています。これに伴って個人消費や設備投資も急落しており、地域経済は停滞色を強めています。今回の不況を乗り切るためには、省エネルギー、新エネルギーなどの環境関連の技術革新で新規需要を創り出すことが効果的ですが、そのための人材・技術力に磨きを掛けておくことが重要です。

当財団は平成13年より、北九州地域に集積する大学・研究機関と産業界のコーディネーターとして、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として、地域経済の振興に努めてまいりました。昨年7月22日、北九州市は国の「環境モデル都市」に選ばれました。これは、北九州市のこれまでの環境への取り組みや今後の低炭素社会づくりに向けた

1)ストック型都市構造への転換、2)次世代産業構造の構築、そして3)アジア地域への展開などの提案内容が評価されたものです。エコネットひびきのや色素増感太陽電池などの活動を通じて、今後とも21世紀を支える産業の育成にさらなる努力を続けてまいります。北九州地域の産業振興には、中小企業・ベンチャー企業の活性化が不可欠です。当財団の中小企業支援センターでは、創業予定の方や経営者の皆様の相談にお応えする総合相談窓口と、個別の経営課題解決を支援する専門家派遣、中小企業・ベンチャー企業の経営に役立つ諸情報の提供の3事業を中心に、中小企業・ベンチャー企業の活性化に向けた取り組みを進めています。さらに、販路開拓の支援や製品・技術開発のコーディネート、特許等の知的財産権の出願や活用など、皆様のお役に立てる事業を実施してまいります。

最後に、新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

■三菱化学株式会社

黒崎事業所長 清木 俊行

新年明けましておめでとうございます。



当社は1934年に日本タール工業として発足し、翌年には黒崎工場(現 黒崎事業所)の操業を開始しました。爾来、地元とともに発展してまいりましたが、近年は、北九州地区に産学官の連携に関する新しい息吹を感じております。自動車関連産業が集積するとともに、若

松区西部の北九州学術研究都市でさまざまな研究会が設立されているのはその好例でしょう。カーエレクトロニクスや太陽電池の研究会には、黒崎の研究開発部門からも参画しており、将来の中核事業の育成につながるのではと期待しています。また、政府から環境モデル都市に選定された北九州市からは、低炭素社会への転換につき国際社会を先導していくという、先駆者の気概が感じられます。

当社は、昨年4月に新しい中期経営計画をスタートさせました。この中で、資源や環境の分野で積極的な役割を果たし、持続可能性のある社会の構築に貢献することを掲げており、数値目標を設定して地球温暖化ガスの削減を推進するほか、製品開発を通じての削減にも取り組んでまいります。これは、まさに環境モデル都市である北九州市のチャレンジと歩調を同じくするものといえるでしょう。

原油価格の高騰を受けた原材料コストの増加や米国に端を発する未曾有の金融危機の国内産業への波及等、経済情勢は悪化の一途をたどっており、厳しい状況はしばらく続くと思われます。新年の舵取りは非常に難しいものですが、産学官一体となってこの荒海を乗り越え、成長の喜びを皆様と分かちあえるような年にしたいと願っております。本年も引き続きご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

■日産自動車株式会社

九州工場長 川瀬 賢三

新年あけましておめでとうございます。



私共、日産九州工場は、九州初の自動車生産工場として1975年に操業を開始し、本年で34年目を迎えます。改めて、これまで長きに亘り支えて頂いた地域の皆様方に感謝申し上げます。

さて、昨年は原油の高騰、米国金融不安に端を発した世界的な経済不況により、私共自動車産業のみならず、様々な産業において猛烈なアゲンストの風が吹き荒れました。

この状況は本年も続くことが予想されますが、しかしながら、例えば自動車産業においては長期的にグローバルでは需要が伸びていくと言われておりますし、多くの産業において、いつまでもこの状況が続くとは思えません。

この厳しい時期にあらゆる視点から改革を実践し、企業としての力を一層強めることが求められており、そのことが来るべきフォローの風に大きく羽ばたく原動力となると考えます。

私共日産九州工場は、世界で愛されるクルマを生産することで「世界の恋人」となり、地域と共に発展することにより「地域の恋人」になることを目指して、本年も邁進していく所存でありますので、倍旧のご指導、ご鞭撻を頂戴することをお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR—募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.12 広告 3-4



経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています

大光炉材株式会社

本社: 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町 1-1

TEL: 093-871-1631 (代) FAX: 093-883-2151

<http://www.taiko-ref.com>



CASLE CO., Ltd.



REGISTERED ORGANIZATION EMS Accreditation No.E472-ISO14001

ISO 14001 認証取得

代表取締役

渡邊 健司

Kanji Watanabe

カースル株式会社

URL: <http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL: 093-481-1212

新春随想



平成21年の新春随想

福岡県商工部 新産業・技術振興課 課長 藤元正二

新年あけましておめでとうございます。NPO 法人北九州テクノサポートの皆様におかれましては、日頃より福岡県の産業振興にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様は国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、長年にわたり地域のものづくりを担われた豊富な経験と技術により、企業経営技術支援、産学連携等連携支援、情報(IT)関連支援など積極的に取り組んでこられました。特に、環境関連では ISO やエコアクション21の企業取得支援活動は世界的な環境都市、北九州市にふさわしい取り組みであり、これらの活動について改めて敬意を表するとともに、大いに勇気づけられるものであります。

さて、本県では関係機関との連携のもと、北部九州自動車150万台生産拠点プロジェクトを推進しており、地元企業の参入を支援するなど自動車関連産業の集積及び雇用の創出を目指してきたところですが、昨今のサブプライム問題に端を発する世界的な景気後退のなかで、本県の経済情勢も予断を許さない状況になって参りました。

これに対応するため県では金融対策、雇用対策を迅速に進める一方、次代を担う新たな産業の育成も強力に推進して参りました。こうした取り組みの結果、これまでに半導体、バイオ、水素エネルギー、ロボット、ナノテクノロジーなどの大型戦略プロジェクトで企業集積が図られるなど着実な成果が上がっております。特に、環境にやさしい究極のエネルギーである水素エネルギーについては、北九州地域においても様々なプロジェクトが進行中です。こういった中で改めて、ものづくり基盤技術を担う県内ものづくり産業の生産性向上や人材育成、技術技能の継承がますます重要になってまいりました。県といたしましても工業技術センターをはじめとした技術開発支援、無担保・無保証の「元氣フクオカ資金」による資金面での支援、知的所有権センターによる支援など県内ものづくり中小企業を強力に支援して参ります。

最後になりましたが、皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 下村 輝夫



新年明けましておめでとうございます。

「新経済成長戦略2008改訂版(平成20年9月19日閣議決定:経済産業省編)」では、①資源生産性の抜本的向上への集中投資、②高付加価値化に向けたイノベーションの仕組みの強化、③資源生産性競争時代における経済産業構造の構築、④世界市場獲得と持続性発展の

ためのグローバル戦略の再構築、⑤地域・中小企業・農林水産業・サービスの未来志向の活性化を主要な柱としています。端的に言えば、我が国の環境技術の強みを活かして「ピンチ」を「チャンス」に変えて成長の道を切り拓くこととなります。

九州経済産業局では、九州新経済活性化プラン実現に向けたアクションプランで今後3年間の強力推進事項として、①地域産業の競争力強化、②アジアへの貢献と対アジアビジネスの新展開、③エネルギー・環境問題への取り組み、④農商工連携等地域資源の有効活用を挙げておられます。このためには、産学官連携—イノベーション創出—産業クラスターの構造的発展が不可欠です。

本学と致しましても、わが国の産業発展のため、品格と創造性を有する人材を育成と言う基本理念の下に知の創造と知の活用を支える活力ある組織としての機能発揮に邁進して参る所存です。

今後とも、貴法人(NPO-KTS)の御指導と御支援を賜りますよう御願い申し上げます。

北九州市立大学 都市政策研究所所長 春山 英夫



新年明けましておめでとうございます。

都市政策研究所は、北九州市立大学の地域貢献の拠点として、平成18年4月に発足いたしました。真に産・官・民に開かれた総合的なシンクタンクとして、地域が抱えます中長期的な課題に対して、学際的な視点から調査研究を行っております。

現在、若者の雇用問題やベンチャー企業の育成、地域コミュニティの再生、中心市街地の活性化など、産業経済・社会福祉・都市計画の3分野を中心に、各種関係機関と連携を図りながら、調査研究を進めています。

また、本学では産学連携の一層の推進を図るために、昨年11月に企業向けの相談窓口「地域産業支援センター」をひびきのキャンパスに設置いたしました。当センターでは技術に関わります助言支援はもとより、経営や法律の研究者が在籍します北方キャンパスと連携し、経営問題についても助言支援いたします。

さらに、本年4月には地域の再生と創造に貢献できる人材を養成するため、「地域創生学群」を北方キャンパスに設置いたします。この新たな学部は、地域マネジメント・地域福祉・地域ボランティアの3つのコースで構成され、「地域社会」のさまざまな分野で指導的な役割を担える人間力に富んだ人材を輩出できるものと期待しております。なお、平成17年4月に開学した「ビジネススクール」におきましても、地域の産業経済のリーダー養成に日夜努力しております。

本学は5学部・大学院4研究科を擁する総合大学であり、これら人的資源を総動員して、引き続き、地域産業の発展及び福祉の向上に努めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR—募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.12 広告 5-6



株式会社 有蘭製作所

当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供。

代表取締役 有蘭 秀昭

〒805-8538 北九州市八幡東区東田 1-7-5

TEL:(093) 661-1010 FAX:(093) 661-1670

<http://www.arizono.co.jp/>



代表取締役社長 松島 徹

株式会社 松島機械研究所

本社 北九州市八幡西区大字則松 461 〒807-0831

■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735

■<http://www.matusima.co.jp>



■完全国産化した、パルスレーダー式マイクロ波レベル計

水素エネルギー新産業の育成・集積に向けて

福岡県商工部新産業・技術振興課 企画主幹 間野彰彦（福岡水素エネルギー戦略会議事務局）

■ 脱化石燃料

昨今の原油高は一段落してきましたが、中国やインドなど新興国の需要の伸びや油田の老朽化により、中長期的に原油価格が再び高騰するのは避けられないとの見方が支配的です。IEA（国際エネルギー機関）の予測によると、原油価格は2030年に1バレル*200ドルを突破するとも言われています。（※1バレル＝約159ℓ）

さらに、地球温暖化問題も深刻化しています。原油を始めとした化石燃料の消費による二酸化炭素(CO₂)の排出量増加により、深刻な気象変動が引き起こされるのではないかと懸念されています。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の予測によると、このままCO₂の排出を続ければ、2100年の平均気温は最大6℃上昇すると言われています。

私たちは、石油を始めとした化石燃料の利用により文明を大きく進歩させてきました。しかし、将来にわたり持続可能な社会のためには、化石燃料から脱却した新たな社会システムを構築することが必要とされています。

■ 水素エネルギーとは

化石燃料に代わるエネルギーとして注目されているのが、水素エネルギーです。水素エネルギーは、その利用段階でCO₂を全く発生しません。また、水素エネルギーは、化石燃料からも製造できますが、バイオマス・太陽光・風力など再生可能エネルギーからも製造できます。つまり、再生可能エネルギーから水素エネルギーを製造することにより、化石燃料に依存しない社会を構築することができます。

さらに、水素エネルギーと酸素を化学反応させ電気を作り出す「燃料電池」は、従来の発電方法よりも高効率の発電が可能です。化石燃料から水素を製造した場合でも、燃料電池を使えば約3割の省エネルギーが可能となります。

現在、高効率な発電システムである燃料電池を利用した「燃料電池自動車」や「家庭用燃料電池コージェネレーションシステム」などの実用化を目指し、国内外で熾烈な開発競争が進められています。特に家庭用燃料電池は、これまでに3000台以上の実証試験が実施されており、いよいよ来年度から市販が開始される予定です。

■ 福岡県の戦略

福岡県では、水素エネルギーを「次世代成長産業」と位置付け、県の最重要プロジェクトとして様々な施策を進めています。その取組の中核となっているのが、水素エネルギー分野における全国最大の産学官連携組織「福岡水素エネルギー戦略会議」です。戦略会議には、12月1日現在、488企業・機関が会員として参画しています（会費無料）。

福岡県・戦略会議では、2008年2月に策定した「福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)」に基づき、研究開発、社会実証、人材育成などの取組を総合的に推進しています。

現在、Hy-Life プロジェクトに基づく社会実証として、LPガスを燃料とする家庭用燃料電池を150台集中設置し、水素エネルギーを利用する世界最大のモデル都市「福岡水素タウン」を整備する取組を、新日本石油(株)、西部ガスエネルギー(株)と協働して前原市で進めています。

また、次世代自動車として期待される燃料電池自動車、水素エンジン車の実証走行を行う「水素ハイウェイ」を構築するため、福岡市と北九州市の2ヶ所に水素ステーションの整備を進めています。北九州市側には、八幡東区東田のガソリンスタンド内に、岩谷産業(株)、新日本製鐵(株)、新日本石油(株)と協働して、水素をパイプライン供給する世界3例目の水素ステーションを建設することとしています（2009年6月完成予定）。来年度には、北九州でも燃料電池自動車・水素エンジン車の実証走行が開始される見込みです。

■ 水素エネルギー新産業への新規参入支援

福岡県・戦略会議では、Hy-Life プロジェクトに基づき、水素エネルギー新産業への新規参入支援も行っています。

戦略会議が運営する「福岡水素エネルギー人材育成センター」では、水素エネルギー新産業への新規参入を目指した企業幹部を対象に、水素エネルギーや燃料電池の基礎知識などを半日で講義する「経営者コース（参加料3,000円）」を開催しています。

また、北九州市の西日本総合展示場では、毎年10月に、西日本最大の燃料電池・水素エネルギー専門展示会である「水素エネルギー先端技術展」を開催しています。昨年10月22日～24日に開催した展示会には、42企業・機関が出展し、製品・技術導入の商談が積極的に行われました。

さらに、本年度からは、北九州テクノサポートとも協力し、来年度から市販が開始される家庭燃料電池への補機部品等の供給を目指した「補機研究会」を立ち上げることとしております。キックオフセミナーとして、「家庭用燃料電池の開発状況」や「家庭用燃料電池の補機（水処理装置、熱交換機、電力変換装置）に求められるスペック」を紹介するセミナーを1月28日(水)に福岡市で開催します。詳細な情報は北九州テクノサポートを通じて会員の皆様へお知らせしますので、是非ご参加ください。（参加無料）

■ 最後に

福岡県・戦略会議では、水素エネルギー新産業の育成・集積に向けた様々な取組、支援を行っています。水素エネルギー新産業にご興味のある企業におかれましては、戦略会議に会員としてご参画いただくとともに、戦略会議の支援メニューをご活用いただければ幸いです。

なお、戦略会議の最新情報はホームページ（<http://www.f-suiso.jp/>）から入手可能です。

☑ご興味のある方はホームページもご覧ください。



◆（知事公舎に設置された家庭用燃料電池）

◆（九州大学水素ステーションと燃料電池自動車）

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■ 広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.12 広告 7-8

GL PIPE JOINTS 好評です



新製品賞
'99 中小企業
優秀新技術新製品賞

福岡県知事賞
中小企業先端技術展
福岡県知事賞

■北九州市八幡東区西本町 4-5-1
TEL:093-681-7195/ FAX:681-7196
E-mail:pd-otsuji@daiso.bz
URL <http://www.daiso.bz/>

☑ご質問・お問い合わせは→専用 FAX:093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー



株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田 5 4 2-3 8

TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146

本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町 1 2-6

TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839

E-mail: info@uchidanet.co.jp

URL: <http://www.uchidanet.co.jp>



環境モデル都市、北九州市と企業・ビル・家庭等の役割と責任

◆環境モデル都市づくりを通じた低炭素社会と豊かな暮らしの実現



北九州市環境局長 久鍋 和徳

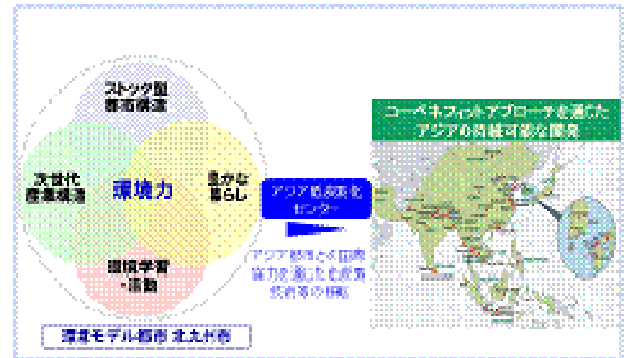
北九州市は、今年 7 月に、日本政府から「環境モデル都市」に選定されました。また、これに先立つ 3 月には、環境 NGO が実施する日本の環境首都コンテストで 2 年連続総合第 1 位になりました。環境モデル都市は、地球温暖化防止に向け、二酸化炭素排出の大幅削減と豊かな暮らしや経済成長を達成する、「低炭素社会」の実現への先導的取り組みを進めるもので、全国で 6 都市が選ばれています。

北九州市は、成長するアジアの低炭素づくりを牽引する「アジアの環境フロンティア都市」を目指し、取り組みを進めることとしています。北九州市の取り組みは、産業都市や少子高齢化社会としての低炭素社会のあり方を提示するとともに、アジアの低炭素化に向けての都市間環境外交のあり方を提示するものでもあります。

北九州市の目標は、低炭素社会づくりを通じて、人々の豊かな暮らし経済成長を実現することです。そして、2050 年には、北九州市で発生する CO₂ を今の半分にし、また、アジア地域において、現在の北九州市の CO₂ 排出量の 150% に相当する量を削減することを目指しています。私たちの先人が大変な努力によって見事に環境問題を解決されたように、将来の世代の人々に良い環境を伝えていけるよう、私たちも低炭素社会づくりに全力で取り組みを進めています。

北九州市の低炭素社会づくりの戦略は、ストック型都市構造への転換、次世代産業構造の構築、環境学習や活動の推進、そして、豊かな暮らしの創出の 4 つの取り組みを、市民、産業界、学術機関、行政の「環境力」を推進力として進めることです。さらに、このような取り組みによって得られる低炭素社会づくりの経験や技術を、高い経済成長が続くアジア諸都市に移転し、「アジアの低炭素化」を促進することです。そのための仕組みとして、「アジア低炭素化センター」の創設を進めています。北九州市には、低炭素社会づくりに必要な様々な技術な経験などの基盤があり、また、アジア諸都市との環境協力ネットワークも構築しています。

環境モデル都市は、CO₂ 削減による地球温暖化防止だけでなく、地域の活力を創出していくものでもあります。ストック型都市への転換によって、市民・地域の資産価値の向上や生活のゆとりの創出、子どもから高齢者までが暮らしやす



環境モデル都市への取り組みのアプローチ

い生活空間の創出、そして、中心市街地の活性化などにつながります。次世代産業構造の構築によって、付加価値の高い成長産業の集積、エレクトロニクス・新エネルギー等の環境技術開発などが進んでいきます。環境学習・行動の推進によって、豊かな暮らしの創出の仕組みが構築されるとともに、地域コミュニティ活動の推進や視察・交流を通じてのビジターズ・インダストリーの進行にもつながります。さらに、アジアの低炭素化への取り組みでは、市民、学術分野などの様々な分野での国際交流の拡大、環境ビジネスの海外展開の促進にもなります。

環境モデル都市への取り組みの主役は、企業や市民の方々に、皆さまのご理解、協力、参画がとても重要です。このため、地域を挙げての取り組みの仕組みとして、今年 9 月に、市民、NPO、産業界、学術機関、行政が構成員となった「北九州市環境モデル都市地域推進会議」が発足しました。また、行政内部においても、「北九州市環境モデル都市市内推進本部」

を設置し、その下で、「都市構造」、「産業・エネルギー」、「市民生活」、「アジア展開」の 4 つのプロジェクトチームが、組織横断的に活動を行っています。NPO 法人北九州テクノサポートは、まさに多様な技術者集団として、低炭素社会実現に求められる技術やアイデアの提供、さらには、市民とのインターフェイスの役割を果たされるものと期待されます。本市の蓄積した技術、経験、人材を環境モデル都市づくりに大いに活かしていただきたいと思います。

本市は、「NPO 法人北九州テクノサポート」を始め、市民、企業の皆様とともに、全力で環境モデル都市づくりに取り組んでいく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。なお、環境モデル都市についての提案や意見など、いつでもお気軽にご相談ください。

(北九州市環境首都推進室:582-2787 まで)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS 四季報 Vol.12 広告 9-10

健康長寿140才への挑戦

- ①植物由来ミネラルによる免疫力の強化
- ②糖鎖食品による細胞の免疫感受性の向上
- ③マイナス水素イオンによる若返り

私共で用意出来ます

(株)ミツワ製作所 いきいきフレンド
0120-255-434

生化学進歩で、自己幹細胞による細胞の移植の時代が来ました。



当社は平成5年設立以来、不動産鑑定士向けパッケージ商品の開発に取組む専門メーカーです。お客様により良いソフトウェアをより安くご提供します。

株式会社 ランテックソフトウェア TEL:093-932-2350 FAX:093-932-2352

■本 社 〒802-0814 北九州市小倉南区蟠田若園 3-13-47LAビル

□東京営業所 TEL:03-5510-1225 FAX:03-3502-1412

□鹿児島サポートセンター TEL:099-218-8770 FAX:099-218-8772

中小企業が期待する KTS の専門部会とは…?

■産学連携支援Grの活動

1. **北九州TLO技術移転活動業務受託**: 昨年6月に(財)北九州産業学術推進機構(以下財団という)から委託を受け、財団が保有する技術シーズを北九州市内の企業に技術移転する活動を開始しましたが、やや活動が停滞気味です。今年3月まで残り少ない期間ですが、移転活動に注力する所存です。
2. **福岡県自動車関連人材育成事業への参画**: 産学官の連携による工業高校への実践教育導入を目的にH19年度から開始された事業に、4県立工業高校(小倉・戸畑・八幡・苅田)と企業を結ぶコーディネーターという形でFAISから5名の会員が委託を受け活動しています。この事業は21年度までで続きますが、その後自立化事業が計画されており、これにも積極的に参画したいと考えております。



■環境技術支援Grの活動

北九州地域のさらなる発展のためには、雇用の創出が不可欠です。この面では北九州市はモノづくりの街として発展してきました。現在自動車をはじめバイオテクノロジー、ロボットなど先端政調産業の育成・集積に取り組んでいます。また近年クローズアップされてきている環境問題についても、従来型の省エネルギー技術に加えて、クリーンエネルギーの導入が強く叫ばれています。これらの実情を踏まえて、平成21年度は、まず身近に存在するエネルギー問題から取り組みたい。なお、テクノサポート内だけの活動は人的制約があり、今年度は、大学やエネルギー関連のNPOとの協働作業等について模索する。

クリーンエネルギーへの取組は、①太陽光発電の普及対策(公立小中学校への導入、一般家庭への普及など)、②中小企業における水素エネルギー技術情報の収集、③二酸化炭素の排出削減技術への取組等で、中小企業に対する排出量削減対策、排出量取引への支援並びに、バイオエネルギーの普及対策(竹材、木材等の有効活用)

■「技術・経営分野」平成20年度の実績

1. 北九州市、北九州産業学術推進機構などの公的機関、大学及び企業などに対する人的及び技術協力を実施。
2. 中小企業支援センターのホームページに掲載されている北九州の技術マップ情報更新作業への協力。
3. 北九州イノベーションギャラリーのホームページに掲載されているものづくり関連企業調査への協力。



■ISO/エコアクション 21 支援Grの活動

ボランティア価格で密度の濃いハイレベルな講習・コンサルを提供しています。ISO9001、ISO14001 の新規認証取得がやや頭打ちの中で、OHSMS(労働安全衛生マネジメントシステム)やISO 構築・運用のお手伝い、内部監査員養成研修の出前講習など延べ8件にわたってお手伝いする事ができました。

環境省が策定した中小企業向けの環境経営システム(エコアクション 21)は4年を経過し、大企業や自治体、公的機関のグリーン購入・サプライチェーンのグリーン化に広がる環境経営システムとして認知されてきました。また公共事業の入札時の加点ポイントも北九州市や佐賀県、山口県で得られることや、産業廃棄物処理業者の優良評価制度の資格要件となっていることなどから認証取得が急速に伸びています。今期はすでに福岡県、北九州市、佐賀市、下関市、山口県、安川電機などの主催による構築・運用のコンサルを述べ120回・人行っています。経営者の環境意識の向上と相まって今後ますます増加すると思われます。エコアクション 21 の審査人講習会の全国大会が熊本で10月に開催され、支援 GR の審査人8人とEA21 地域事務局福岡2人が参加し研鑽しました。



エコアクション 21 地域事務局福岡と ISO・EA21 支援 Gr の連携

いよいよ躍新段階に入ったエコアクション21

エコアクション 21 地域事務局福岡 事務局長 藤原成種

発足以来3年有余、エコアクション 21 は、世の中になりに知られてきました。全国ではH20.11.30現在、2,956事業者が認証・登録されております。H20 年度末には、4,000 事業者に達し、H21 年度末には、5,000 事業者を超えるといわれています。わが地域事務局福岡においても、目下130 事業者が認証・登録を取得されておりまして、幸いにも、全国的にも有数の地域事務局に育ってきております。

これもひとえに、深いご理解と積極的なご協力により、自治体イニシアティブ・プログラムを立ち上げて下さった北九州市をはじめ、佐賀市、下関市のほか、関係企業グリーン化プログラムに参加くださった山口県、(株)安川電機、さらには独自の集合コンサルティングを実施していただいた福岡県のおかげであると感謝しております。

認証を取得された事業者におかれましては、CO2の削減を通じて地球温暖化防止に、廃棄物及び水使用量の削減によって、限りある資源節減に貢献されているほか、事業者の実情に合った独自の活動をされた成果として、コストダウンにつながり、また社員の環境への意識の高揚、社会的評価の高まりなど、有形無形のメリットの実をあげておられます。

当地域事務局も発足以来、約 300 件の審査申請(新規、中間、更新)を受け付けており、テクノサポート所属の審査人各位を中心に、豊富な経験に基づく適切な審査・指導、地域判定委員会委員各位の的確な審議により、中央事務局からも高い評価を得ているところです。

今後とも、関係各位のご協力、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS 四季報 Vol.12 広告 11-12

株式会社 豊洋製作所

本社◆北九州市小倉南区津田新町 4-12 代表取締役社長 小河原 悟

◆鋳造品

◆金具本体

工場◆〒800-0304 福岡県京都郡苅田町越崎 1-44

◆水栓金具の部品メーカー

TEL:093-436-5200/FAX:093-436-5207
URL <http://www.hoyo-s.co.jp/>

優良で信頼できる自動車整備会社の全国ネットワークグループです。環境に配慮したエコ整備の普及促進に取り組んでおり、『エコアクション21』取得会員は現在7会員、さらに6会員が取得予定です。人と車と環境にやさしいエンジン洗浄や窒素ガス充填など多数のエコ整備に対応しています!

アドバンスクラブ北九州支部

アドバンスクラブ・エンジン洗浄紹介センター: 0120-312-215
お気軽にご連絡ください!

アドバンスクラブ北九州支部事務局
(三井住友海上火災保険(株)北九州支店内)
TEL 093-541-1338 / FAX 093-533-0135

携帯・外出でエンジン洗浄の詳細を紹介中!

<http://msig.jp>

株式会社 有菌製作所

11月12日、小林、重藤両理事が瀟洒な3階建て本社工場を訪問し、有菌秀昭社長から懇切丁寧なお話を伺った後、工場施設を見学しました。

■会社の沿革と業況

明治43年八幡春の町で義肢の製造販売を開始し創業。当時は中国・台湾など広域販売を行っていた。昭和10年12月会社設立以来、義肢装具、車椅子、歩行器、座位保持装置、リハビリ用機器などの製作を行い現在に至っている。この間、ドイツ、アメリカの代理店となり海外との取引を開始。国内に於ける福祉機器のメーカーとして機器の開発に積極的に取り組み、平成17年にはISO13485(医療機器における国際標準規格)を取得し、福祉と医療の信頼性向上に寄与している。

また、義肢装具士などの多数の有資格者により、営業段階から製造までお客様の要望に添うべく心をこめたモノづくりが行われている。

■今後の展望と課題

汎用品分野は、大手企業の参入や、海外からの輸入により厳しいコスト競争に晒されているため、オリジナル商品・オーダー対応に特化してきた。今後生き残るためには、独自商品の開発が急務であり、現在大学の先生方と共同研究に取り組んでいる。また、今後一層の少子高齢化に伴い、ニーズの多様化、高機能化、より環境に配慮した製品作りが求められ、この要求に応えるための方策が課題である。

■KTSへの期待

KTSの方々には、今までISOの見直しや車椅子の標準化等で大変お世話になりました。今後もいろいろな面で是非ご協力いただきたいと思います。



◇会社概要

■本 社: 北九州市八幡東区東田1-7-5 TEL: 093-661-1010
代表者: 代表取締役 有菌 秀昭 設 立: 昭和10年12月
資本金: 4,000万円 従業員: 180名
■事業内容: 福祉・医療器具の開発・製造・販売
当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具等のサービスを提供。又、オーダー品の製作・販売(車椅子、姿勢保持装置、歩行支援器、装具等)
URL <http://www.arizono.co.jp>

株式会社 神垣組

12月4日、石井・重藤両理事が新建材に包まれた本社工場に迎えられ、神垣三次社長から倍の時間を頂き懇切丁寧なお話を伺い後、工場見学をさせて頂きました。

■会社の沿革と業況

当社は、事業を通じて社会に貢献し、常に自信とプライドを持って商品を提供する企業で有り、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で次世代へ継承する事を理念としております。昭和26年福岡市西区の今津で左官業を開始。創業当時は左官業も羽振りを利かせ、左官の技能向上・組織強化に努め、大いなる信頼を得て、順調に業務を拡大して来ましたが、その後、建築様式の変化で左官が必要な壁が乾式に代り、仕事が減り、売上高も伸びませんでした。

其処で、新しき分野への進出を模索し新建材への試行錯誤を経て、焼かないセラミック「ノラクル」を開発・製品として世に送り出しました。

ノラクルは低温セラミックを使用した高強度(脆弱な材料も高強度に)、高耐久性と優れ、骨材に産業廃棄物等を使用可能です。また保水性にも優れています。なお使用例を下記の写真で御紹介します。

■今後の展望と課題

新建材「ノラクル」の応用分野の開発に市・工業試験所や大学と連携して拡大に努めている。特に優しい環境造りで建築物、道路関係、屋上緑化に貢献して行きたい。今後、左官業の売り上げに対し、新建材は比率が低いために克服すべき課題で有る。

KTSへの期待

KTSの皆様には製品説明等をさせて頂きましたが、特に営業力が十分でないために、幅広い関係先紹介・組織力でのご支援を期待致しています。



←①施工例: 宮崎県青島の「鬼の洗濯岩」をイメージした護岸で水質浄化機能を持つ環境保全型護岸ブロックを使用した。
②水辺の環境を浄化する水草ポット
(福岡産業デザイン優秀賞を受賞) ↑

◇会社概要

■本 社: 福岡市西区今津5413-10 TEL: 092-806-6070
代表者: 代表取締役 神垣 三次 設 立: 昭和26年10月
資本金: 2,300万円 従業員: 62名
■事業内容: 炭入コンクリート、リサイクル、新建材等の開発・販売
神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。
URL <http://www.kamigakigumi.co.jp/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当 NPO 法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■プラスα:「中小企業における製品開発資金調達について」(国や地方自治体が行っている中小企業向け施策「助成金・補助金」を利用してみませんか?)
…新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考え見えては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当 NPO 法人にご相談下さい。
⇒当 NPO 法人は、70数名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。

■会員・賛助会員の会費

・正 会 員 入会金: 5,000 円/年会費: 5,000 円
・賛助会員(法人) 入会金: 10,000 円
年会費: 20,000 円/1 口
(個人) 入会金: 5,000 円
年会費: 5,000 円

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。出来るだけ、地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。 広報部長 重藤将美



《詳細情報は下記ホームページから》

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中: ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。技術・経営の発展を支援します。

NPO 法人 北九州テクノサポート
会報「北九州テクノサポート通信 Vol.12」

平成21年1月10日 印刷発行

●発行・編集: NPO 法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org